



# 秋田県老連

2026

VOL.

200

令和8年1月5日発行

発行所／

秋田県老人クラブ連合会

秋田市旭北栄町1番5号

TEL 018 (864) 2723

FAX 018 (864) 2724

E-mail akirouku@akitakenrouren.jp

発行人 小野崎一哉 購読料/年間100円

メインテーマ

のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくりを

会長新年挨拶 — 2 東北ブロックリーダー研修会・単ク若手リーダー研修会 — 3

第62回秋田県老人クラブ大会 — 4 地域支え合い研修会・全国老ク大会 — 6

スポーツ大会結果・若手委員会総会 — 7 老ク傷害保険・賠償責任保険 — 8

## 第62回 秋田県老人クラブ大会



▲第1部「芸能発表」 北秋田市老連阿仁・森吉支部

第62回

「秋田県老人クラブ大会」

— 約700名が参集 —

# 会長に小野崎一哉氏が就任

令和七年五月二十三日、役員改選に伴う理事会を行い、由利本荘市老連会長の小野崎一哉氏が新たな会長に就任いたしました。任期は、二年です。

## 会長就任にあたって

— 地域共生社会の  
実現をめざして —



秋田県老人クラブ連合会

会長 小野崎 一 哉

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年も酷暑となり、耐え難い日々が続きました。八月に大雨の被害に遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。

秋田県老連のメインテーマは、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくり」です。健康寿命をのぼし、自立した生活や生きがいのある生活の実現を目指すと共に、仲間や地域の高齢者と継続的な健康活動の推進に取り組むこと。他の世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりや、高齢者の知識・経験・活力を活かす場と機会をつくる「地域共生社会」の実現を目指します。

老人クラブは、地域の高齢者の生活基盤を支える重要な資源ですが、活動の継続には、様々な課題を抱えています。

高齢者人口が増加する一方、クラブ運営の担い手不足や後継者の不在による活動休止やクラブの解散。そして定年の引き上げや雇用延長により、六十歳を過ぎても仕事をしている人が増えていることと、地域住民同士のつながりの希薄化などの影響でしょうか、新規加入者が減少しています。

県老連では、解散防止と加入促進の取り組みを強化する、新たなクラブを創設するための応援事業を展開しています。

また、地域で活動している趣味の会やサークル等を老人クラブとして認めることや自治会、町内会と連携し、新たな老人クラブを創設する取り組みを積極的に進めています。

老人クラブ会員獲得については、人生経験の知恵や工夫を生かした活動が求められます。日々の生活を満喫し、社会から頼られるよう積極的な社会参加が必要であり、その活動内容についても、より一層の活性化と多様性が求められることが予想されます。

また、高齢者の一人暮らしが増

え、高齢者の孤立・孤独が社会問題になっていきます。高齢になると繋がりがなくて寂しいと思っても、自分ではそれを認めたくない気持ちがあるように思います。人に迷惑をかけたくないという価値観が圧倒的に強いからです。だからSOSを出しにくいのではないのでしょうか。

健康な老後を過ごすことが、社会の目的になりつつある今、健康づくり推進のための取り組みとして、地域社会と関わりをもち、他の人と積極的に交流し、人とのつながりを広げ、孤独・孤立を防ぐ「仲間づくり」や「支え合い活動」を進める老人クラブへ参加する機会を多く持つことが大切ではないでしょうか。

私達老人クラブ会員は、永い人生の中で色々な経験を積み重ねてきました。お互いその経験を活かすことにより、自分らしく、豊かな老後、安心して暮らせる人生に繋がると思っています。

このところ、国籍や人権、セクシャリティーや身体的・精神的条件などで人を切り捨て、優劣をつけて線引きするようないやうなやり方など、世界的にそういった傾向が強くなっていることが、残念でなりません。

人間は本来、他者の喜びこそ自分の幸福と感ずる能力を備えていると言われていると思います。「困っている人を助けたい」というボランティア活動や専門的な知識技能を無償で公共に役立てることこそ社会貢献活動です。「地域共生社会の実現」を目指す老人クラブにとって、こうした

不寛容になりつつある社会を認めなくてはならないと思います。  
先人曰はく、「人生は運命であるように、人生は希望である」。運命的な存在である人間にとって、生きていくことは、希望を持っていることである。  
今後、会員の皆様のなお一層のご活躍を期待し、新年の挨拶といたします。

## 謹賀新年

|      |                |
|------|----------------|
| 名譽会長 | 和田 清恵 (秋田市)    |
| 会長   | 小野崎 一哉 (由利本荘市) |
| 副会長  | 三輪 清美 (八峰町)    |
| 同    | 江島 昭光 (男鹿市)    |
| 同    | 松岡 時子 (北秋田市)   |
| 同    | 高橋 範夫 (横手市)    |
| 同    | 戸嶋 正紀 (事務局長)   |
| 同    | 阿部 伊之助 (大館市)   |
| 同    | 伊東 雅晴 (北秋田市)   |
| 同    | 小林 一成 (能代市)    |
| 同    | 小林 友明 (湯沢市)    |
| 同    | 小玉 義雄 (五城目町)   |
| 同    | 富樫 俊悦 (大仙市)    |
| 同    | 伊東 弘榮 (仙北市)    |
| 同    | 柴田 卓三 (横手市)    |
| 同    | 藤田 永吉 (湯沢市)    |
| 同    | 柴田 宣男 (羽後町)    |
| 同    | 柴田 恭一 (由利本荘市)  |
| 同    | 納谷 京子 (能代市)    |
| 同    | 島山 政美 (大仙市)    |
| 監事   |                |

## 【内 容】

○講演「笑い与健康～心と身体を癒す笑いの力～」

福島県立医科大学医学部疫学講座

主任教授 大平 哲也 氏

○基調報告「今後の老人クラブ活動の振興に向けて」

全国老人クラブ連合会参事 河野 敦子

○活動発表

1. 「老人クラブ会員増員活性化事業について」

青森県八戸市類家五丁目夢くらぶ会長 橋本 昇一 氏

2. 「榴岡公園を通して、次の世代に伝えよう！～榴岡市民センターと榴岡小学校とのコラボ企画～」

仙台市宮城野区榴岡明寿会会長 野田 幸代 氏

3. 「地域サロンの取り組みについて」

山形県大江町4区長楽会会長 駒林 義雄 氏

○グループ討議

「持続可能な老人クラブづくりについて考えよう」

令和七年度東北ブロックリーダー研修会は、七月十七・十八日の二日間、福島県郡山市「ホテル華の湯」で開催されました。研修会には、本年参加者四十五名を含む二九七名が参加しました。

研修会の内容については、左表の通りです。  
なお、令和八年度は、山形県で左記のとおり開催されます。  
東北の皆さんと交流できる絶好の機会です。

多くの皆様がご参加いただきました。ますますよろしくお願

いいたします。

■令和八年度

○開催日…七月十六日(木)

十七日(金)

○会 場…山形県天童市

「天童ホテル」



# 東北ブロック 老人クラブリーダー研修会

福島県郡山市で開催

―本県から四十五名が参加―

## 単クリーダー！若手リーダー研修会

二十六名が参加

昨年、八月二十八日、秋田県社会福祉会館大会議室を会場に「単位クラブリーダー・若手リーダー研修会」を開催しました。  
例年、県内三会場で開催していましたが、日程の関係もあり、今年度は、一か所のみの開催とし、当日は、県内から一六六名の参加をいただきました。  
最初に、「老人クラブ組織の活性化に向けて」と題し、県老連戸嶋事務局長が、県内老人クラブの現状等について講義しました。  
続いて、「生きがいづくりのための『模(ぶな)の実直売所』の開設」と題し、由利本荘市第四福寿会女性部長鈴木トシ子氏から事例発表をしていただきました。  
その後、午後からは「今後の老人クラブ活動に向けて」と題し、グループに分かれて、現在の老人クラブ活動の状況を中心に情報交換をしていただきました。  
最後に、秋田県医師会副会長吉原秀一先生から「熱中症にならないために」と題し、大変貴重な講義

をいただき全日程を終了いたしました。



▲グループ討議



▲事例発表 由利本荘市 第四福寿会

## 第62回

## 秋田県老人クラブ大会

約七〇〇名が参集

去る十月九日、「あきた芸術劇場ミルハス」大ホールにおいて、県内各市町村からクラブを代表する会員並びに福祉関係者、約七〇〇名の参集のもと、第六十二回秋田県老人クラブ大会が行われました。

第一部では、「芸能発表」を行い、下表の七団体から、踊りやフラダンス、銭太鼓の演奏など、おそろいの衣装を身にまとい、日頃の練習の成果を披露していただきました。

第二部式典では、小野崎一哉県老連会長の挨拶に続き、神部秀行秋田県副知事からご挨拶をいただき、その後、表彰を行い、全国老人クラブ連合会活動賞(一クラブ)、秋田県知事表彰(個人十七名、四クラブ)、秋田県老人クラブ連合会会長表彰(個人三十一名、六クラブ)をそれぞれ授与いたしました。

次に、一円ポスト募金については、本連合会(一五〇万円)と「秋田結婚支援センター」(五〇万円)

へ贈呈することを報告しました。

なお、今回の贈呈で、四十四の機関・団体へ七十二回の贈呈、贈呈総額九、一〇〇万円となりました。

次に、山形健二秋田県議会福祉環境委員長、萱森真雄秋田県社会福祉協議会副会長からそれぞれご祝辞をいただき、最後に、松岡時子県老連副会長より、力強い大会宣言を満場一致で採択し、大会を終了いたしました。



▲小野崎会長挨拶

## 第1部「芸能発表」

| グループ名         | 市町村名    | 分野    | 演 目                         | 人数  |
|---------------|---------|-------|-----------------------------|-----|
| 鳥海福寿会         | 由利本荘市   | 踊 り   | 笹子盆踊り「さいさい」                 | 11名 |
| 太田地域老連        | 大 仙 市   | 踊 り   | 秋田県民歌                       | 11名 |
| 飯田川支部女性部会     | 潟 上 市   | フラダンス | ザ・スピリット・オブ・アロハ              | 13名 |
| 踊りの会          | 美 郷 町   | 民謡・踊り | ソーラン節                       | 12名 |
| 北秋田市老連阿仁・森吉支部 | 北 秋 田 市 | 舞 踊 劇 | 鶴の恩返し                       | 17名 |
| 南外地域老連        | 大 仙 市   | 踊 り   | VIVA・LA・VIDA<br>(生きてるっていいね) | 20名 |
| 母体寿山会         | 能 代 市   | 銭 太 鼓 | ・おさるのかごや<br>・あや子のお国自慢だよ     | 10名 |

## 全国老人クラブ連合会会長表彰

## 活動賞

松 森 ク ラ ブ (北秋田市)

## 秋田県知事表彰

## 老人福祉功績者

保 坂 紀 清 (秋田市)  
 菅 生 誠 光 (秋田市)  
 伊 藤 一 誠 (能代市)  
 高 橋 金 誠 (横手市)  
 野 原 幸 雄 (横手市)  
 阿 部 伊 之 助 (大館市)  
 鈴 木 盛 之 (大館市)  
 阿 部 久 米 雄 (大館市)  
 鈴 木 俊 悦 (大館市)  
 富 山 政 美 (大館市)  
 大 山 博 (大館市)  
 島 澤 正 子 (大館市)  
 中 嶋 正 子 (大館市)  
 近 藤 毅 作 (小坂町)  
 藤 田 勇 強 (五城目町)  
 優 良 老人クラブ

## 秋田県老人クラブ連合会会長表彰

## 老人クラブ育成功労者

平 治 子 (能代市)  
 朝 川 善 洋 子 (横手市)  
 福 岡 順 二 郎 (横手市)  
 伊 藤 順 二 郎 (横手市)

|       |       |       |       |       |       |        |        |        |        |        |        |       |       |       |        |        |        |       |       |       |       |       |       |          |  |  |  |       |       |        |       |        |       |             |  |       |       |        |   |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|--|--|--|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------------|--|-------|-------|--------|---|
| 高橋    | 加藤    | 鎌田    | 藤田    | 川上    | 石坂    | 小川     | 鈴木     | 木村     | 西村     | 堀川     | 渡部     | 鈴木    | 柳原    | 奥山    | 三浦     | 藤嶋     | 八柳     | 伊藤    | 渡部    | 工藤    | 中島    | 山崎    | 佐々木   | ◆優良老人クラブ |  |  |  | 縫殿    | 松木    | 祝寿     | 戸地    | 鎌沢     | 朝日    | ◆老人クラブ育成従事者 |  | 田村    | 草薙    | 武石     |   |
| 範     | 峯     | 虎     | 永     | 光     | 元     |        |        | 博      | 春      | 修      | 恵      | 誠     | 昭     | 典     | 新      | 繋      | 二      | 春     |       |       | ト     | 隆     | 孝     |          |  |  |  | き     | 松     | 寿      | 福     | ク      | 健     |             |  | 和     | 栄     | 礼      |   |
| 夫     | 子     | 男     | 吉     | 利     | 悦     | 廣      | 均      | 道      | 一      | 平      | 子      | 一     | 郎     | 勝     | 吉      | 功      | 夫      | 子     | 国     | 強     | 子     | 司     | 一     |          |  |  |  | く     | 会     | 会      | 会     | 会      | 会     | 会           |  |       | 代     | 良      | 子 |
| (横手市) | (男鹿市) | (男鹿市) | (湯沢市) | (鹿角市) | (鹿角市) | (利本葦市) | (利本葦市) | (利本葦市) | (利本葦市) | (利本葦市) | (利本葦市) | (大仙市) | (大仙市) | (大仙市) | (北秋田市) | (北秋田市) | (五城目町) | (井川町) | (井川町) | (大潟村) | (大潟村) | (美郷町) | (羽後町) |          |  |  |  | (横手市) | (大館市) | (利本葦市) | (大仙市) | (北秋田市) | (羽後町) |             |  | (能代市) | (大仙市) | (北秋田市) |   |

# 地域支え合い活動リーダー研修会

県内三会場で一九一名が参加

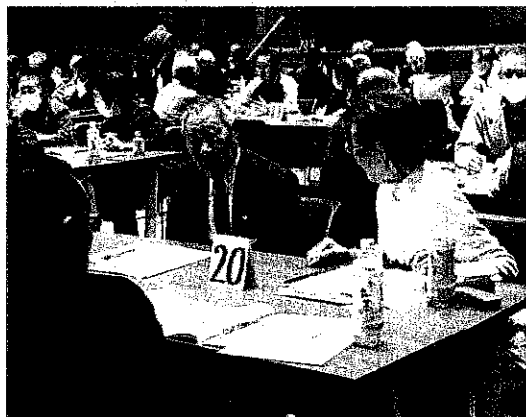
昨年、十月二十八日に秋田市、二十九日に美郷町、三十日には八峰町で「地域支え合い活動リーダー研修会」を開催いたしました。

この研修会は、これまでの友愛活動の実績を生かし、日常的な地域支え合い活動を進めるため、その実践リーダーを養成することを目的に、平成二十二年度から始まったものです。

三会場で総勢一九一名の参加をいただき、左表の内容で行いました。

## 内 容

1. 講義「老人クラブが進める地域支え合い活動について」  
秋田県老連事務局長 戸嶋 正紀
2. 事例発表「私たちの支え合い活動について」  
  - 《県南地区》  
美郷町 和進会会長 齊藤新一郎 氏
  - 《県北地区》  
八峰町 畑谷クラブ会長 武田ムツ子 氏  
能代市 機織第二おとも会  
会長 佐々木健一 氏
3. 情報交換「どう進める支え合い活動」



▲グループ討議



▲事例発表 能代市 機織第二おとも会

## 第54回 全国老人クラブ大会

茨城県水戸市で開催

— 本県から12名が参加 —

去る十一月五・六日、茨城県水戸市「水戸市民会館」において、第五十四回全国老人クラブ大会が開催され、全国から一、二四七名（本県十二名）が参加しました。

初日は、「老人クラブが取り組む地域高齢者のための活動」をテーマに活動発表（パネルディスプレイ）が行われ、茨城県、大分県、岩手県からそれぞれクラブの活動事例を紹介しました。

二日目は、苗字研究家高信幸男氏から「あなたの知らない名字の世界」と題し、大変貴重な講演がありました。

続いて、大会式典が行われ、本県関係者では、以下の方々が表彰

されました。

なお、八年度の全国大会は、鳥取県での開催が決まっています。

全国の方々と交流する絶好の機会です。ぜひご参加ください。

■全国老人クラブ連合会会長表彰

▲育成成功表彰

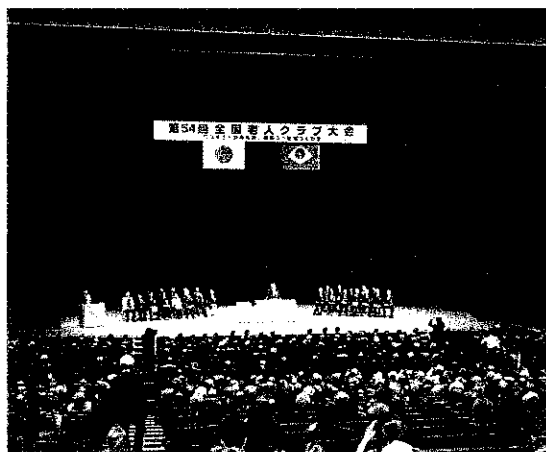
北秋田市 松岡 時子

▲女性リーダー育成成功表彰

大仙市 八嶋みつ子

▲優良老人クラブ連合会表彰

上小阿仁村老人クラブ連合会



■令和八年度開催日程

期日：十一月二十六日（木）

二十七日（金）

会場：鳥取県鳥取市

# 第三十二回「秋田県高齢者ペタンク親睦交流大会」 第三十八回「秋田県高齢者八人制バレーボール親睦交流大会」 第七回「秋田県高齢者グラウンドゴルフ」の三つの大会を実施しています。

県老連では、毎年、健康の保持・増進、介護予防に繋げ、あわせて県内愛好者との親睦と交流を目的に、「ペタンク・八人制バレーボール・グラウンドゴルフ」の三つの大会を実施しています。

幸い、コロナ禍であつても、中止することなく、これまで無事に開催することができましたが、会員の減少や高齢化など、参加者が減少傾向にあります。

健康づくり活動は、老人クラブ活動の中でも最も重要な活動の一つです。

多くの高齢者の仲間と共に、ペタンクやバレー、グラウンドゴルフを通じ、健康長寿を目指しましょう。

なお、大会の結果は以下の通りです。

## ■第三十一回秋田県高齢者ペタンク親睦交流大会

○令和七年六月十一日（水）

○潟上市長沼球技場

○二十八チーム・九十三名

### ●優勝

きさかた・追分西北老A・潟上市D・秋田P C I C・秋田P C I D

## ■第三十八回秋田県高齢者八人制バレーボール親睦交流大会

○令和七年九月三日（水）

○秋田市立体育館

○男子十七・女子十五

計三十二チーム・三二二名

### ●優勝（男子）

健康クラブ鷹巣同好会・須川ソフトバレークラブ・比内クラブ

### ●優勝（女子）

横手V C 女子・健康クラブ鷹巣同好会

## ■第七回秋田県高齢者グラウンドゴルフ親睦交流大会

○令和七年九月十八日（木）

○秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場（大仙市）

○四十五チーム・一七九名

### 一・団体戦

●優勝 田沢湖地区老連

●準優勝 太田地域老連（仙北市）

●第三位 福田G Gクラブ（大仙市）

### 二・個人戦

#### ●優勝

古谷 裕紀（横手市）

#### ●準優勝

井上 吉郎（大仙市）

#### ●第三位

平野原千佳子（横手市）



▲グラウンドゴルフ



▲バレーボール



▲ペタンク

## 県老連

## 「若手委員会総会」開催

委員長には高橋範夫氏が再任

昨年の四月二十二日、県老連若手委員会総会を開催し、任期満了に伴う役員改選を行い、委員長には、高橋範夫氏（横手市）が再任されました。

任期は、令和七年度から二年間です。

また、後日、県老連の役員改選が行われ、若手委員長は女性委員長と同様、県老連副会長に就任することとなりました。

なお、若手委員会の役員は、左記のとおりです

### ■若手委員会役員

委員長 高橋 範夫（横手市）

副委員長 猪股 勝一（由利本荘市）

同 柴田 幸一（北秋田市）

常任委員 佐々木弘光（潟上市）

同 成田 陽悦（藤里町）

同 金谷 優（仙北市）

いきいき活動を  
支える

## 老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
  - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
  - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- ※保険担当者とは・・・加入者の取りまとめ、加入申込書の記入、申込内容確認の窓口等をしてくださる方です。会長様は特に登録いたしませんので実務をしてくださる方をご登録ください。全老連保険係や保険会社から照会の連絡が入る場合があります。

2025年10月始期  
2026年 4月始期版

## 老人クラブ 傷害保険 〈掛金・補償内容〉

自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)。

一部のタイプでは他人の物を壊したり、

他人にケガをさせた場合\*1も対象となります。1人1口加入で年齢制限はありません  
(複数口加入はできません)。\*1 法律上の賠償責任が伴う対人・対物事故が対象です。

● 保険始期月  
および保険期間

| 保険始期月    | 手続き期間(締切日厳守)       | 保険期間                |
|----------|--------------------|---------------------|
| 2025年10月 | 2025年7月15日～9月15日まで | 2025年10月1日午後4時から1年間 |
| 2026年 4月 | 2026年1月15日～3月15日まで | 2026年 4月1日午後4時から1年間 |

## ● 掛金タイプと補償内容

**新**「熱中症危険補償特約」が全タイプにつきました!!

【クラブ活動中とは】所属する単位老人クラブがあらかじめ計画・実施する活動、市区町村(地区・校区)から全国までの各老連が主催する活動イベント、老人クラブ関係者として他団体の活動への参加(往復途上を含む)

| タイプ                    | 24時間型                                                                                          |                    |                    |                    | 活動型                           |          |        |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|----------|--------|
|                        | クラブ活動中(往復途上を含む)・クラブ活動中以外を問わず<br>日常生活全般(24時間)のケガを補償します。<br>【補償額】上段:活動中のケガの補償額 下段:(活動中以外)のケガの補償額 |                    |                    |                    | クラブ活動中(往復途上を含む)の<br>ケガを補償します。 |          |        |
| 補償内容<br>(保険金額)         | 掛金<br>(1人あたり)                                                                                  | 12,000円/年          | 8,000円/年           | 5,000円/年           | 3,500円/年                      | 1,000円/年 | 500円/年 |
| 死亡保険金                  |                                                                                                | 410万円<br>(250万円)   | 290万円<br>(210万円)   | 270万円<br>(190万円)   | 170万円<br>(125万円)              | 80万円     | 45万円   |
| 後遺障害保険金                |                                                                                                | 160万円<br>(-)       | 80万円<br>(-)        | 80万円<br>(-)        | 45万円<br>(-)                   | 80万円     | 45万円   |
| 入院保険金日額<br>1事故につき30日限度 |                                                                                                | 6,300円<br>(2,500円) | 3,370円<br>(1,420円) | 3,320円<br>(1,370円) | 2,070円<br>(1,080円)            | 1,950円   | 990円   |
| 通院保険金日額<br>1事故につき30日限度 |                                                                                                | 3,900円<br>(1,350円) | 2,010円<br>(760円)   | 1,970円<br>(720円)   | 1,140円<br>(550円)              | 1,250円   | 590円   |

■ 8,000円、12,000円タイプには「個人賠償責任補償」(1億円限度)、「地震・噴火・津波補償」の特約がついています。

## 老人クラブ 賠償責任保険 〈掛金・補償内容〉

他人の物を壊したり、ケガをさせた時\*1の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対 象 : 単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ② 保険期間 : 毎年10月から1年間(中途加入可)  
③ 掛 金 : 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④ 補 償 : 支払限度額1億円

\*1 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。



## 公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

加入申込書等、  
資料請求先

専用FAX03-3597-8767

お問い合わせ  
ご相談 先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス [hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

受付時間 9:30から12:00まで  
13:00から17:00まで

土、日、祝祭日、  
年末年始休

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

【老人クラブ傷害保険】老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)

【老人クラブ賠償責任保険】施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりませんが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。

2025年3月作成 24TC-007888